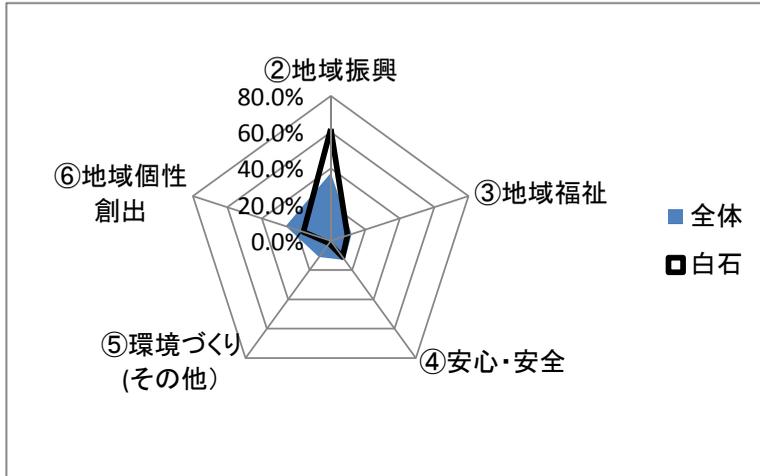


# 白石地区地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(平成29年度)

## ■地域の情報

地域人口	10526人	自治会数	40
世帯数	4591世帯	自治会加入率	89.68%

※数値は、平成30年4月1日のもの



## ■決算状況

交付金配分枠	8,705,000 円
交付金決算額	8,539,145 円
その他収入	432,033 円
交付金決算額/配分額	98.1%

## 各分野の決算

①協議会運営	4,651,618 円
②地域振興	2,667,160 円
③地域福祉	418,516 円
④安心・安全	477,272 円
⑤環境づくり(土木工事)	0 円
⑤環境づくり(その他)	71,107 円
⑥地域個性創出	685,505 円
決算総額	8,971,178 円

## ■地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなでつくる住みよいまち・白石

## ■総括

交付金の活用によって、地域課題の解決に向けた住民意識の高揚が図れ、新たに地域づくりに参加される方が増えるなど、地域づくりの協働態勢が整いつつある。

今後についても、第2次地域づくり計画に基づいて、地域課題を解決するための手段としての事業を企画し(P)、地域住民が主体となって活動し(D)、事業結果(効果)を検証し(S)、改善する仕組みを構築する(A)ために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

① 協議会運営	事務員、事務局長人件費、事務費
② 地域振興	地域づくり活動参加促進、広報活動、「やまぐちえき」応援イベント事業、町内親睦大運動会開催支援事業、白石フェスティバル開催支援事業、町内会親睦活動支援事業、ふるさとまつり参加促進事業
③ 地域福祉	人権啓発活動推進事業、ノルディックウォーキング講習会、チャレンジ健康づくり事業、健康食のおススメ事業、グラウンドゴルフ大会開催、むかし遊び事業
④ 安心・安全	危険防止看板設置事業、反射鏡設置事業、自主防災組織モデル事業、夏休み防災訓練キャンプ事業、安全パトロール事業
⑤ 環境づくり	五十鈴川を守る会(河川清掃)
⑥ 地域個性創出	お宝写真展開催事業、明治維新150年記念事業

■重点的に取り組んだ事業

	事業名	チャレンジ健康づくり事業	決算額	204,286円
	目的	日常的に運動に親しむ地区住民を増加させ、心身とも健康な地域づくりを推進する。		
	実施内容	参加者に対して活動量計を貸出し、運動に関するプログラムを月一回のペースで提供。同時に活動量計のチェックを実施し、個人にあった健康的な身体活動量を自覚してもらい事業を展開する。この事業を契機に習慣的な運動をツールとした健康づくりに取り組む人が増加することを目指す。		
	実施時期	平成29年7月～平成30年3月		
	参加人数	53人		
①	成果	参加者目標50人に対し、61人参加(過去最多)でスタートし、8人が途中棄権したものの、最終的に53人が修了した。		
	評価	今年で3年目となる本事業は、活動量計をツールとして地域住民の健康意識は年々高まりつつある。(健康づくりを通して仲間づくりが促進されている)		
	今後に向けて	次年度は5ヵ月で設定し、短期集中型の活動日程とし、出席者を増やす。 開講式当日に、シューフィッターによる足の計測や診断を行い活動開始の期待感を醸成する。 プログラム受講に際し、各自の希望に沿ったプログラムを自由に選択できることを事前に告知する。 卒業生の受け皿(活動継続の支援)として、新たに同好会を立ち上げる。		
	事業名	明治維新150周年記念事業	決算額	627,185円(内200,000円は特別加算交付金)
	目的	明治維新に係る歴史に対する理解と関心を高め、もって郷土愛を育み、地域の連帯感や絆を深める。		
	実施内容	講演会の開催、バスツアー開催、広報誌及びホームページにコラム掲載、幕末維新史跡マップの作成(全戸配布)。		
	実施時期	平成29年4月～平成30年3月		
	参加人数	340(述べ人数)		
②	成果	講演会・バスツアー・広報誌へのコラム掲載、幕末維新史跡マップ作製により幕末・明治維新の山口市で行動・活躍した人物や史跡を詳しく周知することができた。		
	評価	講演会・バスツアー・広報誌へのコラム掲載は好評であった。とりわけ、幕末維新史跡マップの作製を行い、全戸配布することにより、本事業の足跡を残すことができた。		
	今後に向けて	本年度で特別交付金事業は終了するが、来年度についても、講演会開催やコラム掲載については引き続き実施し、新たに、幕末維新史跡マップを活用した維新探訪ウォーキングを実施する。		

事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	172,070円
目的	子どもからお年寄りまで家族ぐるみで地域の祭に参加していただき、地域住民同士の繋がりを深める。		
実施内容	<p>【ほたるまつり】 実行委員会メンバー他有志で赤煉瓦前広場において、無料休憩所の設営・運営および交通警備を行った。</p> <p>【祇園祭】 御神輿の参加者を対象にサラシの巻き方教室、終了後には直会を開催した。</p> <p>【山口セタちょうちんまつり】 一の坂川沿いにちょうちんツリー43本にちょうちん860張の飾りつけ・点灯を行った。また、ほたる広場周辺のちょうちんツリー8本には、保護者や子供たち245名がそれぞれの願いを短冊に書いて飾り付けた。なお、本年は荒天のため8月6日のみ1日だけの開催となった。</p>		
実施時期	平成29年6月3日、7月20日・27日、8月6日		
③ 参加人数	528人		
成果	<p>【ほたるまつり】 参加者41人。多数の来場者(約400人)に利用していただき大好評であった。</p> <p>【祇園祭】 参加者193人(御神輿担ぎ手116人、直会77人)</p> <p>【山口セタちょうちんまつり】 参加者294人(ちょうちんツリー49人、願事短冊245人)</p>		
評価	昨年と比較して参加者が69人増加した。		
今後に向けて	<p>地縁者の参加者が少なく、参加意欲の高揚が図れなかった。引き続き、町内会連合会を通じて、単位町内会長に参加要請を強化する。</p> <p>また、より多くの地域住民(とりわけ、子育て世代と子どもたち)が参加していただけるような楽しい企画を検討し、実施する。</p>		